

学校通信



子安だより



創立150周年キャラクター

【こやっこ150】

発行日：令和5年2月28日
発行：横浜市立子安小学校
〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-36-1
TEL 045-421-0993

学校ホームページ
QRコード



自分が好き 友だちが好き 学校が好き まちが好き



活動を通して学ぶ

校長 大島 宏二

職員玄関前の紅梅と白梅が満開を迎えました。プランターに植えているチューリップの球根からは太い芽が顔を出し、じゅっくりと、でも着実に力強く伸びてきている様子に春の訪れを感じます。明日からは弥生、3月です。

今年度の残りの登校日数が20日を切りました。この令和4年度は、コロナ禍前の教育活動にどこまで戻せるか、戻すべきところは戻しながら、新たな内容や方法も検討しながら進めてきた1年間でした。その集大成にあたるのが、3年ぶりに全校で体育館に集まり、来賓の皆様にもお越しいただいて実施した1月の創立150周年を祝う会であったと思います。子どもたちが学年に応じた関わり方ができるようにと職員が知恵を絞り、工夫しながら準備をして当日を迎えたことで、会に参加したみんなが本校の創立をお祝いする温かい気持ちになれたのではないかと感じました。

また、本校の特色の1つでもある「プログラミング」の授業は、外部講師のサポートをいただきながら今年度も全学年で実施しました。6年生は、車型ロボットを操りながらスキルを毎年少しずつ積み重ねてきた4年目の活動でしたので、実施後の感想からもこの貴重な経験の価値が読み取れました。

「それぞれのグループが発表したときに、“プログラミングってすごい!”と思いました。なぜなら同じ機械で同じアプリを使っているのに、考えたことは一人ひとり違うし、一人ひとりの想像しているものが目に見えて、動いていたからです。」

「たくさん失敗して、その失敗を生かして、次の成功につなげることができました。みんなと教え合い、1つのものを作り上げる協力の力も付きました。プログラミングを通して、このような力が身に付き、まだまだやりたいなと思いました。」

「3年生のときから貴重な体験をしているのだなと、6年生になってからこの学習の大切さが分かりました。これからの社会がどうなっていくのか、プログラミングの授業を通して学ぶことができました。」

「プログラミングの先生の話にあったように、“過去は変えることができないけれど、未来や自分を変えることができる”ので、これからももっと頑張っていきたい！」

このような深い想いを綴ることができる子安小の6年生は立派です。そして、毎年3～6年生の各学級の授業にボランティアで来てくださり、子どもたちからこのような想いを引き出す先生の情熱が本当に有り難いです。元横浜市立中学校長だったこの方は、プログラミングの活動を通じて子どもたちに声をかけながら、人格形成を支援する素晴らしい教育者ですので、今後も指導の継続をお願いしています。

今年度、本校の教育活動の充実にご協力を頂いた多くの皆様方、誠にありがとうございました。

5年 英語ワークショップ



1月23日から2月13日の間、各クラス4回の英語ワークショップ「ライオンキング」を行いました。全国の小学校で英語劇ワークショップ「英語DEドラマ@学校」を展開されている小口真澄先生を講師としてお招きし、ご指導いただきました。

「ライオンキング」英語劇をクラスごとに演出していただき、それをもとに練習を重ね、最後は5年生の他クラスと4年生に向けて発表しました。

子どもたちからは英語劇を通して、「まずは、英語よりお話集中して体を動かすことに取り組んでいくと、自然と言葉が湧いて驚いた。」「最初は不安だったけれど、心を通わせることで、どんな人とも打ち解けられ、みんなと大きな作品をつくり上げる楽しさや喜びを学んだ。」「自分から行動することが大切だと思った。」「友達と協力することの楽しさを味わい、団結することができた。」「達成感を味わえた。」「英語を楽しみながら、覚えられた。」など、英語を学ぶ以上のものを得られた様子が見られました。また、子どもたちからは、「もっとほかの劇もやってみたい!」との声も聞かれ、充実した学びの時間を過ごすことができました。

5年生の保護者の皆様、衣装のご協力、ありがとうございました。

2年 JR 出前授業

2月2日(木)、JR東神奈川駅の駅員の方をお招きし、駅員の方の仕事や電車に乗る時のマナーについて教えていただきました。

一日の仕事紹介の中で、電車は1%でも心配なことがあれば走らせないこと、駅員は駅で寝泊まりするときもあること、寝坊しないようにベッドがせり上がって起きられるようになっていることなど、様々な仕事の秘密を知りました。普段見ることのできない運転席からの映像が流れたときは、大きな歓声が上がりました。

また、クイズ形式で正しい電車の乗り方や待ち方を学んだり、列車非常停止ボタンを実際に押す体験をしたりしました。貴重な体験に、子どもたちは大満足でした。

最後は、たくさんの質問にも丁寧に答えてくださり、楽しく学習することができました。限られた時間の中であったため、もっともっと話が聞きたいという子どもたちの思いがあふれていました。

今後の校外学習で電車に乗るときに、今回学んだことを生かしていきたいです。



学校保健委員会開催

2月16日(木)に第2回学校保健委員会を開催しました。第1回・第2回ともに感染拡大防止のため、保護者の方々や学校医・学校薬剤師の先生方には参加してもらうことはできませんでしたが、全校児童が参加できるようにテレビ放送で行いました。昨年度は、「心の健康」について全校で考え、取り組み、心も体もニコニコ元気になりました。そして、今年度は「体の健康」について全校で考えたいという保健委員の熱い思いから、テーマは「シャキッと生活でけがをふせごう」となりました。けがが起こるときの再現VTRを作成したり、走らないようにしてもらうためのマークを考えたりしました。

また、5年生が中心となり全校にアンケートを実施し、その結果を発表しました。1年間の各クラスの目標や取組について振り返り、頑張ったことを保健室前の大きな手を描いた紙に貼りました。ばんそうこうをめくると、各クラスの頑張ったことを見ることができます。



3年 浦島消防出張所見学



社会科の学習で消防署見学へ行ってきました。クラスを2つのグループに分け、消防署内と消防車を見学しました。消防署の中には、ベッドやお風呂、自分の身長よりもずっと大きな地図があることに驚いていました。また、消火活動に使う道具の種類の多さを目の当たりにして、意欲的に調べていました。たくさんの質問にも答えていただき、子安のまちを守ってくださっている消防士の方の仕事の工夫や思いを知ることができました。



登下校時着用の黄色い帽子

本校では、登下校時の安全のため、黄色い帽子(子安の「K」の緑マークが入ったもの)を着用しています。帽子の形に男女のきまりはありませんので、どちらの形を着用してもかまいません。

横浜市ふるさと納税「教育活動の充実」によりいただいた寄付金で印刷機を購入いたしました。おかげさまで子どもたちのタブレット端末内のデータを直接印刷することができるようになりました。今後とも、教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。